さんにち NIE ワークシート

山梨日日新聞

年　　組　名前：

燃料電池自転車 レンタル

道の駅富士川拠点に実証実験へ

韮崎、横浜の2社 実用化向けデータ収集

精密機器製造の日邦プレシジョン（韮崎市）と駐輪場メーカーの東海技研（横浜市）は9月から、富士川町の道の駅富士川を拠点に、水素を燃料とする燃料電池を積んだ電動アシスト自転車をレンタルする実証実験を行う。同様の実験は全国で初めて。11月からは甲府市役所でも実験を行い、水素の消費量や燃料電池の耐久性などのデータを集め、実用化につなげる。〈山本就己〉

高圧水素容器と燃料電池を積んだ電動アシスト自転車＝富士川町青柳町

日邦プレシジョンと東海技研によると、自転車の後部に積んだ箱に高圧水素容器（1・1リットル）と燃料電池を格納。「従来のリチウムイオン電池を使った電動アシスト自転車の2倍以上の継続走行距離が見込める」（東海技研）という。現行法令では高圧水素容器を積んだ自転車の公道走行は認められていないが、経済産業相の特別認可で実施する。

実験は9月4日から2025年1月にかけて実施。道の駅富士川内に自転車5台を用意して希望者に貸し出す。東海技研の専用機器で走行後の水素消費量などをクラウドシステムで把握し、収集したデータを山梨大などと解析し、実用化に向け参考にする。

燃料の水素は必要に応じて甲府・米倉山の研究開発施設で補充する。自転車の利用は原則18歳以上、身長145センチ以上の人が対象。走行エリアは自由で料金は無料。11月からは甲府市役所でも同様の実験を始める。

両社は8月21日、道の駅富士川で実験開始に向けたセレモニーを行った。関係者や長田公副知事、富士川町の早川竜一副町長、山梨大の中村和彦学長らが出席し、実験に使う自転車を試乗した。

（2023年8月22日付 山梨日日新聞5面）

問1

韮崎市と横浜市の企業が実証実験を行う電動アシスト自転車は、どのような電池を使う自転車ですか。

問2

従来のリチウムイオン電池の自転車と比べると、何が優れていますか。

問3

この自転車レンタルが利用できる対象者を、答えてください。

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2023 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.